



ごとにチームを組み、各園・学校を巡回訪問して、具体的な支援策を助言します。また、子どもの発達に気になる保護者、子どもの就学に不安をもつ保護者には、「こども発達センター」と連携して、発達・教育相談を随時行い、よりスムーズな就学につなげていきます。

(3) 相談活動・学習支援の充実

「こころの相談員」の各校巡回を改め、「ほっとスペース」に常駐させ、日常は「ほっとスペース」を利用しての子の支援にあたることとし、各校の要請に応じて、子どもや保護者、教職員の相談を行います。また、スクールヘルパーを中学校に配置し、学校不応におこしている生徒の学習・生活支援を行います。

(4) 外国人支援教育の充実

外国籍の子は、現在200人弱が在籍し、多国籍化が進む傾向です。日本語教育が必要な子には、通訳者を3人配置し、通訳・翻訳活動、相談活動、言語指導、進路相談など細やかな対応を行い、学校への適応を図ります。また、外国籍の子を対象にした翼小学校の「くすのき学級」での早期適応指導の取組みも成果を上げており、本年度も継続して行います。

4

安らぎと魅力のある 地域の学習拠点の確立

学校が、授業や学校行事などと

おして、地域住民と子どもたちが交流する場になるように努めます。特に、生活科や総合的な学習の時間などの「高浜カリキュラム」の実践や各種行事においては、保護者・地域の方に積極的な協力をいただき、共に活動し、学ぶ機会となるような単元を設定し、企画していきます。

また、子どもたちが地域行事に参加・参画することで、地域の方とのふれあいを密にしていきます。地域行事を通じて、高浜市の文化を継承、開発、発展させることができるように働きかけ、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」をめざします。

5

地域で子どもを育む 教育環境の整備

学校関係者評価委員会の活動を充実させ、学校、家庭、地域がそれぞれできることを確認し、協働するための学校づくり活動を展開して、この委員会が学校の地域応援的な存在となるよう、綿密に連携していきます。また、小・中間での計画的な人事交流を進めていくとともに、市内の教職員が、小・中学校のどちらの学校にも勤務できるよう、計画的に教員免許状が取得できる方策に取り組んでいきます。

6

市民の学び舎となる 教育環境の整備

学校は子どもにとって学びの場であり、一日の大半を過ごす生活の場、公教育を支える基本的施設です。また、地域コミュニティの拠点でもあり、学校が地域との関わりを大切にしたい市民の学び舎となるために、教育環境の整備を計画的に進めていきます。

高浜小学校は、多様な利活用が可能な学校施設として、また、地域のまちづくりや交流の拠点、避難所機能をもった学校となるよう、着実に整備を進めていきます。

安全確保のために、小中学校の屋内運動場の吊り天井撤去などの改修工事を進め、老朽化に伴う修繕は、必要に応じて計画的に予算配当するなど、速やかに対応していきます。

さらに、教育のICT化を見据え、小学校パソコン教室のタブレットなどの充実を図り、子どもが学習に興味をもち、積極的に授業に臨める環境づくりに取り組んでいきます。

